

Tell 伝える

「子育てをさせてくれてありがとう」
 どうか、健やかに育ててほしい。
 そして、いつかこの子が大きくなったなら伝えよう。

地域のつながり

家庭と社会で育つ子ども

子育ての主体は親であり、家庭におけるしつけなどの教育責任は親にあります。こうした家庭での教育が全ての教育の出発点であり、愛情による絆で結ばれた家族との触れ合いを通じて、人としての基礎が育っていきます。

しかし、子どもは家庭の中で育つわけではありません。保育園や幼稚園、学校、近所同士などがつながることによって子どもの社会性や自立心が育まれ、あらゆるものが刺激となり、学びの機会となります。

取り巻く環境の変化

成長とともに社会との関わりが増えます。一方で、核家族化や共働き世帯の増加など、子どもを取り巻く環境が年々変化しているのも事実。子どもを巻き込む悲惨な事故や事件の報道が後を絶ちません。児童の登校班への自動車の突っ込み事故、不審者による児童連れ去り事件、さらには親族による児童虐待など。全てを防ぐこと

子どもを育む環境は家庭だけではなく、地域社会もまた同じです。地域のつながりの希薄化が叫ばれる今だからこそ、地域が担う役割を見つめ直したい。



【子どもを守る家】子どもたちが危険を感じた時に駆け込める場所。地域の民家や店舗など、新たな協力先を随時募集しています。

▶問い合わせ
 青少年センター ☎(37)5925



【マイ・チャレンジ】地域の事業者などの協力を得て行われる、中学生の社会体験活動。地域で働くことをとおして社会性や勤労観などを学ぶ、まさに地域で教育する事業です。



【スクールガード】児童の通学の安全を見守るスクールガードが多数活躍中。県内でも児童を巻き込んだ事故が起きています。皆さんは、引き続きゆとりある運転をお願いします。

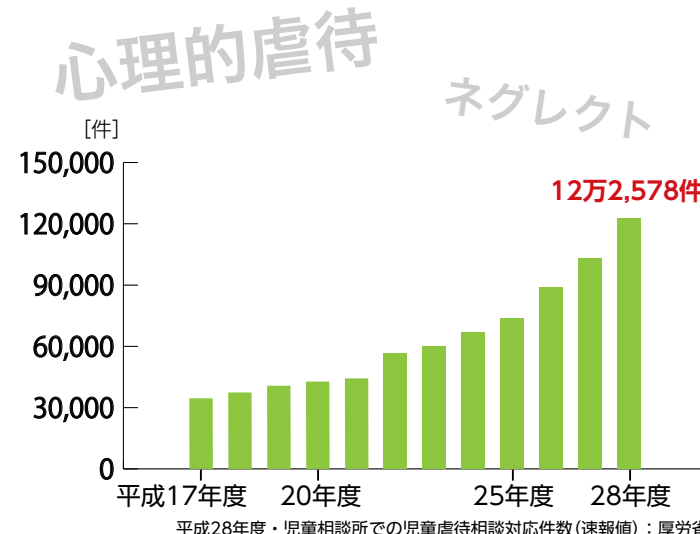
社会の宝をみんなで育てる

ひと昔前までは三世同居型の家庭が多く、子どもの育つ身近な環境には、両親以外にも祖父母、親戚、近所の人など、多くの大人の関わりがありました。親だけでなく、周りの色々なサポートがあり、地域全体が子どもを育てる役割を担っていたと言えます。

市内でも自治会・PTA・育成会・コミュニティなど、子どもを支えるために活発に活動しており、市でも地域の協力を得て、児童の交通安全対策や子どもを見守る環境の整備などを行っています。社会の宝である子どもを健やかに育てられる環境づくりのため、地域のつながりを強化していかなければなりません。

子育てを自分たちだけで抱え込んでいませんか。時に悩み、落ち込み、辛いときもあるでしょう。そんな時、顔を上げて周りを見渡せば、頼れる味方がいるはず。いつも協力してくれる配偶者やおじいちゃん、おばあちゃん。悩んだ時に相談に乗ってくれる友達やまちの保健師さん。色んな人に支えられて、個々が育てられます。その子がかけがえのない存在であるように、その子と歩む人生で得られる喜びや充実感は何事にも代えがたい。ときに辛いことがあり、叱りつけてしまったとしても、最後は優しく抱きかかえてあげてください。そして、優しく語りかけ、たっぷり愛情を注いであげてください。

子どもの居場所



家庭は常に子どもの心の拠り所となる場所です。だからこそ養育者である親が子どもと向き合い、子どもの思いに共感し、よき理解者となることが大切だと言えます。親の愛情が欲しくても受けられず、居場所のない悲しい思いをしている子どもが増えているのが実情です。

▶相談先 子ども子育て総合センター ☎(46)5537